

長期目標		
健康状態の維持、改善 生活習慣や生活リズムの形成 基本的な生活スキルの獲得		
支援内容		
具体的な支援項目	ねらい	支援方法
トイレ介助	自宅以外のトイレに慣れる	支援者とトイレに行くことを習慣化する
	支援者とトイレに行くことを習慣化する	トイレで用を足せたらシールを貼る（ごほうび）ことで動機付けを行う
時間の概念の習得	時計を見て、行動を調整できる	時計の針がさす数字を示し「この数字をさしたら終わり」と声を掛け見通しをもてるよう支援する
挨拶	毎回「はじまり」と「おわり」の挨拶を習慣化していく	絵カードを使用するなど視覚支援を行うことで、適切な挨拶ができるよう促す
健康状態の把握	普段と違う様子に気付く	意思表示が困難な児の表情や身体の動きに注目し、小さなサインを見逃さずに支援していく
手洗いの促進	衛生習慣を身につける	声掛けによる洗面所への誘導、手洗いの様子を写真で提示、手洗い手順のイラストを使用して手洗いの習慣化を支援していく
予定ボードの理解と実行	活動の見通し立て	実施課題を写真や絵カードを貼付した予定ボードを提示し、使用する教具や順番を共有することにより見通しを持たせる

長期目標		
姿勢と運動、動作の基本的機能の向上		
姿勢保持と運動、動作の補助的手段の活用		
身体の移動能力の向上、保有する感覚の活用、感覚の補助及び代行手段の活用		
感覚の特性への対応		
支援内容		
具体的な支援項目	ねらい	支援方法
サーキット運動	飛び石、平均台への上り下りで バランス感覚を養う	大きさの異なる飛び石の上を渡り歩く、平均台は最初は短い距離から始める
階段昇降の補助	安全な段差の昇降	危険のないよう見守り、場合によっては支援者が抱っこしたり手を繋いで介助する
姿勢保持	体幹の弱さを補う	児の体格に合わせた机、椅子を用意する
	感覚充足による姿勢保持	姿勢が崩れやすい児の補助を行うため支援者が横並びで支援する バランスディスクの凹凸を踏むことで感覚を満たし、離席を減らす
色輪っかジャンプ	ジャンプの可否確認	床に並んだ色輪っかの中を片足跳び、両足跳びで移動する イメージしやすいよう「グー、パー」「びょん」などのオノマトベ含む声掛けで支援
	前後左右の認知確認	色輪っかを床に並べ、口頭指示された位置にジャンプ（前後左右認知） 「みぎ、ひだり」の声掛けだけでなく手で方向を示し視覚的に支援する
ボール遊び	注視、ボールのコントロール	ボールに注目させた上で支援者とキャッチボールを行う 見たタイミングでボールを転がすことで、ボールを捉えやすくする
バランスボール	体幹を使った姿勢保持	バランスボールの上に座り、支援者がそっと支えて姿勢を維持する、体幹を意識する
風船遊び	力加減の調整、追視	風船の扱い方を予め伝える、手本を見せる バドミントンのラケットなど道具と組み合わせた遊びにつなげる
ブールスティック	動きの追視、予測して動く	スティックを左右に動かしジャンプを促す 児のレベルに合わせてスピードを調節する
大型オセロ	ルールのある遊び 勝敗受容	児に理解しやすいようルールを説明する 勝敗にこだわる場合「ドンマイ」「次頑張ろう」などの声掛けで支援
クレーンで運ぼう	力の微調整、相手との協力	ゴム製クレーンを操作する際、オノマトベを交えた声掛けで支援 児の能力に合わせて運ぶもの（紙コップ、カラーコーン）を変える
フラフープ	ボディイメージをつかむ	簡易的な動きから始め、徐々に複雑な動きに移行し取り組みへの興味関心を維持していく

長期目標		
認知の発達と行動の習得		
空間、時間、数等の概念形成の習得		
対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得		
支援内容		
具体的な支援項目	ねらい	支援方法
視覚支援	見通しを持たせる	実施課題に使用する教具の写真マグネットを作成、ボードに提示することで見通しだてを行う
触覚の活用	刺激の入力により集中力を上げる	着席の継続が困難な特性がある場合、バランスディスクを使用し感覚充足していく スクイーズ、スライムなどの感触遊びを取り入れ、感覚を満たすことでその他の課題へのモチベーションをあげる
大小、数量、色の認知	理解力の向上 表出の効率化	大小の違いが視覚的にわかりやすいパズルを使用し、認知を促す 支援者と一緒に数唱を行いながら積み木を使って実数の習得を目指す 色カードで色の確認を行い、身近なものの色について考え認知を深める
チップドロップ	巧緻性を高める	指先を使ってつまむ、隙間に入れる動きを通じて目と手の協応動作を促す
ブットイン	協同注視、最後まで取り組む	コマを容器の穴に合わせ押し込む動きを観察する 5指、手のひらを満遍なく使えるよう見本を見せながら指示する
入れ子	大小認知の理解	コップを並べて大小や色の認知を確認する 順番に重ねる、入れ子にして片づけることで大きさの変化への気づきを促す
プラステン	数唱、色認知 目と手の協応力を高める	木製リングを色別に揃えることを促し、認知を深める 目と手の協応（リングを棒に通す）
クーゲルバーン	追視、集中力の維持 巧緻性	車をつまんでレールに乗せ、手を離して走らせる（目と手の協応） 左右に動きながら走る車を目だけで追うのか、上半身ごと動きながら見るのかを確認する
コロコロチャイム	追視、巧緻性 コミュニケーションのきっかけを作る 協同注意	転がり落ちるボールを目で追う、ベルの音を ボールを拾い、穴に入れる 複数のボールをまとめて持つ（5指を使う） 支援者が指示した色のボールを取る（色認知、やりとり）
タングラム	空間認知力の向上 記憶力促進	見本通りに作るための手順をスモールステップで示す 同じものを探す手がかりを端的に伝える
輪ゴムパターンボード	位置の調整 巧緻性	見本の絵柄を見ながら、必要な輪ゴムを選定する 輪ゴムの伸縮の維持を補助、ピンの位置を端的に伝える

児童発達支援
支援プログラム表
【言語・コミュニケーション】

長期目標		
言語の形成と活用 言語の受容及び表出 コミュニケーションの基礎的能力の向上 コミュニケーション手段の選択と活用		
支援内容		
具体的な支援項目	ねらい	支援方法
カードゲームを利用する	ルール理解、勝敗受容	対戦相手を意識できるような声掛けを設定し、ルールを工夫する
指差し、身振り、サインの活用	環境の理解と意思伝達手段の習得	発語前のようなサインを見逃さず、児の要求や思いを代弁していく 指差し、身振り、サイン等を用い視覚的にわかりやすい支援を行う
読み書き能力向上	安心感を持って書字に取り組む	紙ではなく画面上で書いてすぐに消せる教具を使用し、不安を低減する。 読み書きへの興味関心が出てきたタイミングで、児の氏名や、関心のあるものの名称を取り入れ意欲を高めていく
言葉タワー	語彙の確認	本人の興味関心のあるカテゴリーを設定し、言葉の表出を期待する スムーズに言葉が出ない時は支援者からヒントを出して補う
接頭語（アのつく言葉）タワー	音韻への気付き	支援者がヒントを提示、繰り返し取り組むことで慣れていけるよう支援する
しりとりタワー	しり通りのルール理解 的確な言葉の選定、表出を促す	思いつきやすい短い名詞から始め、言葉をつなぐ楽しさを伝える
どっちが好きかな	自己決定の練習	2択で選び、選んだ理由を言語化するカードゲームを使用、楽しみながら自己決定の経験を積む
3つのヒントで当てよう	絵カードから3つの要素を抽出し、言語化する 聞く、答えるタイミングを共有する	出題する側、答える側の位置を明確にし「聞く」「答える」役割を意識、共有できるよう支援する
絵カード（名詞）	絵からのイメージを概念と結び付ける	支援者が「○○はどれ？」と聞き選択を促す 「これはなあに？」と聞くことで言葉（名称）表出を促す
絵カード（動作語）	用途の理解、抽出	「○○に使うものはどれ？」と聞き適切なカードを選べるよう促す
絵カード（切り替え質問）	カテゴリー分け	「動物の仲間はどれ？」等の問いかけで仲間分け全般の気付きを促す
どうぞ、ちょうだい	相手の要求に応じる、要求をする時の動作や言葉の経験	支援者が「どうぞ」と言いながら手渡す 「ちょうだい」と言いながら手を重ねるジェスチャーを示し本人の理解を促す

社会福祉法人 正道会
ビノキオプラス登戸

児童発達支援
支援プログラム表
【人間関係・社会性】

長期目標		
他者との関り（人間関係）の形成 自己の理解と行動の調整 仲間づくりと集団への参加		
支援内容		
具体的な支援項目	ねらい	支援方法
アタッチメント （愛着行動）の形成	支援者との信頼関係を形成する	手遊びやごっこ遊びを通じて、一緒に遊ぶ場面を多く設定する。 スキンシップを求めた場合には支援者が応じることで気持ちを満たしていく
一人遊びから協同遊び	支援者と活動を共有することによる楽しさの明確化を目指す	一人遊びから支援者との遊び、他児との並行遊び、ペアでの遊びから小集団へとステップアップしていく 年齢や発達に応じた遊びの提供、ルールのある遊びや勝敗のある遊びでは支援者が適切に介入することで社会性を習得させる
タイミングを合わせる	自己理解と調整	支援者や他児を介在して自分のできること、できないことへの気付きの場を提供する
イチゴケーキ	完成することの共有 色の探索とマッチング	イチゴが少しずつ増えていく様子に期待をもち、完成することを楽しみにできるように支援する。 サイコロと同じ色の部分に注目を促し、色の探索とマッチングを支援する。
カタツムリレース	サイコロの色に応じる 1個ずつ進む	サイコロを手のひらに乗せ、縦にするというサイコロの扱い方を支援する。 支援者と交代で取り組めるよう促す。
クイップス	数と色の組み合わせを理解する	余分な積み木を相手に譲ることができるように促す。 ボードと色積み木のマッチングに気づけるよう指差しや声掛けを行う。
イルカバランスゲーム	バランスに注意しながら全ての積み木を置く	どの位置に積み木を置くか、支援者と相談する。 積み木の向きに気づき、促しに応じられるよう声掛けを行う。
果物を集めよう	ドキドキの共有	支援者が「(カラスが来ても)大丈夫」と声を掛けながら場を作っていくことで、仲間と共にその場にいることができるように支援する。
ウミガメの島	一緒にゲームをする経験	支援者がルールの説明を行うことで、共通認識を持ってゲームを進めていけるように支援する。
ブロックス	互いに受け入れる経験	相手のブロックを意識しながら、状況に応じて対応していくことをゲームを通して経験する。
雲の上のユニコーン	他者とやりとりする経験	ゲームで得たアイテムを、他児に渡す・もらう過程を受け入れられるように促す。
わくわくビンゴ	交換するやりとりを経験	配られた自分の絵チップを、他児とやりとりしながら交換することができる場面を支援者が支援する。